



八百津町立和知小学校（4年生）にて 「ぎふ田んぼの学校活動事業」を実施しました

県では、将来を担う子供たちや地域住民等に、農業・農村の多面的機能や農業用施設の役割等を伝え、農村資源の大切さについて理解を深めていただくために事業を実施しており、今回、八百津町立和知小学校において下記のとおり「田んぼの学校活動事業」を行いました。

記

1 日 時 令和6年5月21日(火) 9:00～12:00

2 場 所 和知小学校 体育館通路

3 参加者 和知小学校 4年生児童25名 教諭2名

関係者 講師：安藤志郎氏（美濃加茂自然史研究会）

講師：酒向正美氏（美濃加茂自然史研究会）

木曽川右岸用水土地改良区連合2名

八百津町役場5名

岐阜県可茂農林事務所6名

4 内 容 ①はじめの言葉（和知小学校）

②挨拶（岐阜県可茂農林事務所）

③農業・農村の多面的機能についての説明（岐阜県可茂農林事務所）

④木曽川右岸用水についての説明（木曽川右岸用水土地改良区連合）

⑤農業用ため池についての説明（八百津町役場）

⑥学校横の農業用排水路での生きもの採取・同定

⑦生きもの学習会（講師：安藤志郎氏、酒向正美氏）

⑧おわりの言葉（和知小学校）

5 実施結果

【児童感想】

- ・田んぼに一時的に水が貯める役割があり、田んぼは大きな役割があることが分かった。
- ・生きもの調査でたくさんの種類の生きものがいることが分かって驚いた。
- ・水辺にいる生きものたちのためにも水がきれいでいることが大切だと分かった。

5 実施状況写真

【農業・農村の多面的機能について】



【農業用排水路での生きもの採取】

